

レカネマブ投与患者における ARIA 発現リスク因子の検討

1. 研究の対象

2024 年 1 月 1 日から 2025 年 3 月 31 日までの期間において、当院でレカネマブを投与された方

2. 研究目的・方法

レカネマブの副作用に、アミロイド関連画像異常（以下、ARIA）があり、その重症度によりレカネマブの投与継続可否が判断されるため、ARIA の管理やモニタリングが重要となる。この ARIA 発現に関わるリスク因子を薬歴・バイタルサイン（血圧）より検討する。調査期間は 2024 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間とした。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、薬歴、画像検査結果、認知機能検査結果、バイタルサイン（血圧）、副作用の発生状況等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

研究責任者：

川崎市立川崎病院 薬剤部 新戸 裕美子

住所：神奈川県川崎市川崎区新川通 12-1

電話：044-233-5521（代）

-----以上